

南阿蘇村議会議長

あらまき しゅんいち
荒牧 俊一



信は力なり
心を一つに前進！

信

皆さま方には、健やかな新春をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。また、平素から村議会への格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本村では、熊本地震によって未曾有の被害を受け、多くの村民の生活再建という大きな課題をはじめとして、産業、交通・生活インフラ、農地等の復旧など、故郷南阿蘇村を取り巻く環境はまだ、大変厳しい中で、地震から三度目の新年を迎えることとなりました。

発災から2年9カ月、本議会では執行部と一丸となり、復旧・復興に向けて多くの課題解決のため、議論を積み上げながら自助努力と、必要に応じ粘り強く国・県などへの要望活動を行ってまいりました。今年も、議会のミッション(使命・任務)を自覚し、議員一人一人が村民の皆さまのニーズをしっかりとくみ上げ、村政に反映させることで、一三代表制の一翼を担う機関として責務を果たし、早期復旧・創造的復興と村民の皆さまと一体となった住みよい村づくりにまい進したいと考えております。

さて、来年は待望の「東京オリンピック、パラリンピック」、そして今年は、我が国、そして熊本でも「ラグビーワールドカップ」が開催されます。

スクラム、モールなど、ラグビーはみんなを信じ総合力で勝負する競技です。ラグビーにおいての基本的な心構えは「one for all, all for one」(二人はみんなのために みんなは一人のために)です。

本村はポテンシャル(潜在・可能な能力)が高く発展性のある、「偉大なる田舎、誇れる故郷」であります。

「信は力なり」。今年こそ、ラグビーのようにみんなを信じ村民全員でスクラムを組み、心を一つに再興を図る南阿蘇村の年だと思います。

皆さまには、本村の限らない発展のため引き続きご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、年頭に当たり、皆さま方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



草千里展望台の新しい展望デッキ開放の記念式典で、テープカットの代わりに「丸太カット」を行う吉良村長と荒牧議長